

特集

スタッフでは伝えられない言葉の深み。 病院がピアサポーターを活用すると こんなに素晴らしいことがある

| 東京武蔵野病院さん + かかわる地域の人たち

特集

マンガでわかる 現場のどうしよう、困ったを解消する 看護理論【地域で暮らせばいろいろあるよ】編

| 中村創（精神看護専門看護師）+ 水谷緑（漫画家）

新連載

精神科の患者さんの
感動・驚愕・奇跡の一言
| 山下隆之

編集後記

生活保護については、これまで扱いたくても難しすぎて（感情論、ベキ論で終わってしまいそう）、雑誌に載せることができなかったのです。ですが今回、谷山牧先生と出会い、先生の論文『就労支援を受ける生活困窮者の就労意欲に影響を与える健康特性の構造の明確化』を読ませていただき、やっとこの実態を足場に特集化を考えたいと思うようになりました。▶精神科では、多くの患者さんが生活保護を受給しています。精神の疾病は目に見えないもので、調子がよい時の患者さんを見た人は、「なぜこの人が働けないのだろう」と思うと思います。一般の人でも医療者・福祉関係者であっても、心にゆとりがない時に生活保護受給者を見たら、感情が波立ち、その気持ちを視線や態度として患者さんに向けてしまうかもしれません。それが際たるものとして現れたのが、水際作戦と呼ばれる、保護行政の窓口担当者が生活保護を受給しないことを組織的に進めていた事象だと思います。今回生活保護を特集したのは、自分も含めて、生活保護というものの意義・意味をもう一度はっきりと言語的に理解したい、という意図がありました。▶もう一つは、受給後のサポートについてです。お金をあげるだけではその人にとって真の助けにはならないのでは、と思うのです。働く気持ちがある人には就労でき、継続できるような具体的な助け、サポート（技能習得、精神的支え、生活習慣の具体的な改善など）が必要なのだということは、誰が考えてもわかることです。それが不十分な日本では、生活保護を受給したら、抜け出るほうが難しいです。こうした点についても、違うあり方、ノウハウを紹介できたらと考えて立てた特集でした。（石川）

*予定ですので、著者、内容含め
変更になる場合があります。

【今月号の表紙】a point of view

精神看護 第24巻第1号 2021年1月15日発行（隔月刊） 発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2021, Printed in Japan 販売・PR部：☎03-3817-5659

『精神看護』編集室：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン：高見清史 (view from above) 表紙・目次写真：齋藤陽道 印刷・製本：アイワード

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税）

2021年年間購読料（送料弊社負担、年間6冊）：冊子版8,382円（本体7,620円＋税）／冊子＋電子版（個人）11,682円（本体10,620円＋税）／電子版（個人）8,382円（本体7,620円＋税）

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

©COPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*『精神看護』は、株式会社医学書院の登録商標です。